

東京学館新潟高等学校 同窓会 GAKKAN DREAM

たちばな会報

TOKYO GAKKAN NIIGATA

ご挨拶



同窓会長
片桐 努

東京学館新潟高等学校の同窓会員の皆様、同窓会長の片桐です。常日頃から同窓会、及び学校にご支援をいただきありがとうございます。ようやく新型コロナウイルスの影響から抜け出し、以前のような生活に戻りつつあります。同窓会も久しぶりに8月26日に総会を開催しました。19年以來4年ぶりの開催でした。皆様の元気な顔を見る事ができ大変嬉しく思っています。また今年は大きなトピックがありました。同窓会総会でも長谷先生から直接ご報告をいただきましたが、野球部が悲願の甲子園初出場を果たしました。異例の暑さが続く夏の日の中、学館らしい爽やかな戦いぶりに感動を超えた思いを抱いたのは、私だけではないのではないのでしょうか。関係の皆様には感謝したいと思います。今後のますますの活躍を期待して止みません。そして、寄付などのご支援をしていただいた皆様、OBを含む「オール学館」の底力を感心しました。大変ありがとうございます。最後に、同窓会はこれからも東京学館新潟高等学校を盛り立てる努力を続けて参ります。ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

同窓会の ご支援に感謝



校長
飯田 昭男

昨年度の四一九名の卒業生は、国立大学に七八名合格という結果を残しました。そして今年度は、四九〇名の新生を迎え全校生徒一四二八名でスタートしました。新型コロナウイルス感染症も第五類に位置づけられ、学校はようやく通常の生活を取り戻しつつあります。野球部が夏の県大会で優勝し、甲子園初出場を果たしてくれました。すぐに、「東京学館新潟高等学校を甲子園に送る会」を組織し、片桐同窓会長様にも実行副委員長をお願いいたしました。学校からも四百名を超える生徒が応援団として参加してくれました。残念ながら、市立和歌山高校に一点差で敗れましたが、学館の歴史に新たな一ページが加わりました。準備不足から、募金活動がスムーズにスタートせず、大会直前に同窓会の皆様に案内が届くような事態になりましたことをお詫び申し上げます。さて、野球部以外でも剣道部が男子団体で三年振りとなる県総体優勝を果たしました。男子テニス部は九年連続十九回目の優勝、男子バレー部と新体操部がそれぞれ二年振りの優勝を果たしてくれました。「たちばな祭夏・秋」とも有観客で実施できました。同窓生の方にも出店していただきました。第四〇回同窓会総会では、本校は同窓会の皆様に支えられていることを改めて感じる事ができました。同窓会の皆様には、今後またお願いすることもあるかと思いますが、よろしく願います。

第40回同窓会総会・懇親会開催！



令和5年8月26日(土)、第40回同窓会総会・懇親会が新潟市内で開催されました。開会にあたり片桐会長の挨拶では、新型コロナウイルスの影響から徐々に抜け出しつつある中、あらためて同窓会の活動を活発なものとするためにも、今総会が対面で開催できたことは有意義な機会であり、さまざまな意見交換とともに懇親を深める機会となるよう出席者に呼びかけました。続いて同窓会名誉会長である飯田昭男校長より、各部活動による輝かしい戦績や今春卒業された同窓生の進学実績など、後輩たちが学校生活を通じて文武両道の実現をめざす様子をご紹介いただきました。総会では同窓会事務局による活動および活動費の収支報告、次年度活動計画ならびに予算について決議を行いました。

続く懇親会は、石山雅一先生、曾我秀哉先生、長谷和昭先生他10名の恩師の方々を迎え、同窓生との懇親を深めました。第1回生から第37回生までの同窓生が勢揃いした会場内では、世代を超えて共通する恩師や学校生活の思い出話に花を咲かせました。また、「甲子園出場」を実現した野球部の活躍について長谷先生よりご紹介いただきました。出席者一同で今夏の躍進ぶりを振り返るとともに、長年に渡るご指導をありがとうございました。そして、会の終盤では同窓会より母校の発展を祈念し、出席された恩師と事務局の方々へ中山栄二副会長の発声のもとエールを贈るとともに、校歌斉唱により盛会のうちに閉会を迎えました。

子園出場!

県大会 決勝戦



2023年7月25日 新潟日報おとなプラス掲載

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
中 越	1	0	3	0	0	0	1	0	0	5
東京学館新潟	0	0	0	0	3	0	0	1	2x	6

令和5年7月25日、全国高校野球選手権記念大会。母校は4年ぶりに新潟県大会決勝戦に臨んだ。

決勝戦の対戦相手は甲子園出場の常連校として知られる中越高校。強豪校を相手に試合中盤まで4点差を追う苦しい試合展開を強いられた。

しかしながら、本校は5回に3得点。その後7回に1点を返され2点差で迎えた8回裏、代打のタイムリーで1点差まで追いつく。9回裏、波に乗る本校はタイムリーで同点に追いつくと、ツーアウトからのサヨナラヒットで劇的な勝利をおさめ、創部41年目にして悲願の甲子園出場を手にした。



新潟から応援バスに乗り、アルプススタンドで応援した学館関係者。
応援団バスは全部で20台にも及んだ。



甲子園の土を踏み、アルプススタンドに一礼する学館ナイン。

県大会で野球部が見せた粘り強さと雄姿は、現役生はもちろんのこと同窓生の皆さんも、甲子園初出場という悲願の達成に喜びに沸き、感動を覚えられたことと思います。喜びのあまり、甲子園大会での試合日程が決まると同時に各自予定を繰り合わせて、甲子園球場へ駆けつける同窓生も多くいらっしゃいました。

続いて甲子園球場で躍動した野球部と、熱い声援を送った同窓生の姿をご紹介します。



快
拳

初

甲



甲子園に響き渡る選手紹介アナウンス。新潟県大会を勝ち進んだナインたち。
一人一人呼ばれるたび、大きな拍手が送られた。



試合前、ノックを始める選手・監督。
外野手ノックでは、36年間学館野球部を率いてきた長谷先生が甲子園の地に立った。
スタンドで応援する野球部OBはもちろん、オール学館生が歓喜した。

甲子園で熱戦を繰り広げた学館ナイン。好ゲームを現地やテレビで観戦し、同窓生のみならず多くの方々から「楽しませてもらった」との声が寄せられ、嬉しい気持ちになった方も多いのではないのでしょうか。
後輩たちから元氣と勇気をもらい、「がんばろう」と思いを馳せた一日でした。



9回表、ピンチを迎えるナインたちはマウンドに集合した。
アップで見ると、なんと笑顔を見せていた。
新潟県大会を9回裏サヨナラで勝利したナインたちは誰一人諦めていなかった。



懸命に戦った学館ナイン。ベンチに戻る選手たちを3塁側スタンドで観戦していた同窓生は拍手で健闘をたたえた。

甲子園大会

令和5年8月9日、初めて甲子園のグラウンドに立った母校は、市立和歌山高校との1回戦に臨んだ。
1回表に先制点を奪われたものの、すぐにその裏、2アウトからのタイムリーで同点。3回に4点を奪われ5-1のまま迎えた6回裏、学館は反撃を開始。1アウト1・3塁のチャンスを生かして1点を返すと、そのまま2点差まで迫った。
そして9回裏。ノーアウトから1・2塁とチャンスを作るも得点できず2アウトに。
「まだまだいける。」「ここからが学館野球だ。」と信じ、応援したスタンドの祈りが通じたのか、3塁線に転がった代打の一打が相手の悪送球を誘い、1点差まで詰め寄った。「二打逆転」の展開が期待されたものの、最後の打者がキャッチャーフライに倒れ、試合終了を迎えることとなった。
しかしながら、最後まで粘り強さを見せ続け、熱戦を繰り広げた学館ナインに向けて、球場全体から大きな拍手が送られた。

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
市立和歌山	1	0	4	0	0	0	0	0	0	5
東京学館新潟	1	0	0	0	0	2	0	0	1	4

令和5年度 東京学館新潟高等学校同窓会【収支予算案】

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(収入の部)

会費	月額400円×1,428人×12ヶ月	6,854,400円
協賛金	40周年記念総会・懇親会参加会員より	200,000円
雑収入	40周年記念総会・懇親会参加会員負担金	800,000円
剰余金積立額取崩	学園協力準備金取崩	1,500,000円
	周年事業積立金取崩	1,200,000円
合計(1)		10,554,400円

(支出の部)

①卒業生子弟子女入学補助(29名)	290,000円
②同窓会会報誌制作・発行費	2,000,000円
③40周年記念総会開催費用	2,000,000円
④同窓会名簿メンテナンス	44,000円
⑤広告掲載料(野球部応援広告)	39,600円
⑥運営費用	
・役員会開催費用	0円
・その他	300,000円
⑦予備費	1,000,000円
⑧学園協力金提出	1,500,000円
合計(2)	7,173,600円

※次年度収支予定 (1)-(2) 3,380,800円

※当年度より、「卒業生子弟子女入学補助」を、入学する卒業生の子弟子女1人当たり30,000円から10,000円へ変更・減額する。

令和5年4月1日
東京学館新潟高等学校同窓会

以上のとおり伺い申し上げます。

会長 月岡 芳
会計 長村 志重

上記予算案について公正妥当であることを証明します。

監査 小林 由美子

令和4年度 東京学館新潟高等学校同窓会【収支決算報告書】

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(収入の部)

会費	(全学年月額400円)	6,604,800円
転・退学者返金精算		-194,400円
雑収入	当年該当なし	0円
剰余金積立額取崩	学園協力金積立額取崩	1,400,000円
	周年事業積立金取崩額	1,000,000円
合計(1)		8,810,400円

(支出の部)

①卒業生子弟子女入学補助(21名)	630,000円
②同窓会会報誌制作・発行費	1,567,313円
③総会開催費用(準備含む)	27,061円
④創立40周年記念芸術鑑賞会負担金	1,286,510円
⑤同窓会名簿メンテナンス	44,000円
⑥野球部応援広告(甲子園/朝日・毎日)	39,600円
⑦運営費用	
・役員会開催費用	164,828円
・振込手数料	2,222円
・その他	58,660円
⑧学園協力金提出	1,400,000円
合計(2)	5,220,194円

※ 当年度収支 (1)-(2) 3,590,206円

令和5年4月1日
東京学館新潟高等学校同窓会

以上のとおり報告いたします。

会長 月岡 芳
会計 長村 志重

上記、事実と相違ないことを証明いたします。

監査 小林 由美子

同窓会役員

(学年代表)

第1回生	星山 雅一/山本 志保	第20回生	北村 泰洋/河内 季恵
第2回生	広瀬 貴志/永木由紀子	第21回生	佐藤 啓/高橋 歩
第3回生	中山 栄二/関根 禎暢	第22回生	松崎 孝太/渡邊美智恵
第4回生	金田 武尚/時田 優	第23回生	櫛谷 諒/増子 綾
第5回生	金田由幸子/渡辺 裕一	第24回生	釣巻 英道/田中 亜実
第6回生	矢澤 剛/大塚 太郎	第25回生	阿部 淳耶/渡辺 愛
第7回生	上田 豪/横木 秀多	第26回生	伊藤沙央里/斎藤 祐樹
第8回生	大橋 慎二/渡辺 桂	第27回生	南 智明/平井 香
第9回生	吉田 広秋/小林由美子	第28回生	金田健太郎/長井紅瑠実
第10回生	権平 勲/佐藤 学	第29回生	元村 厚太/小熊 秋奈
第11回生	早福 智之/岩田 和子	第30回生	茂田井隆太/笹川 花
第12回生	梁取 幸恵/菊地 大	第31回生	近 光/加藤 雅菜
第13回生	出村 忠崇/徳井 洋子	第32回生	佐藤 和洋/中野 鈴奈
第14回生	玉木 純也/新田さとこ	第33回生	北條 有紗/中田麟太郎
第15回生	田辺 智広/北嶋 翼	第34回生	梁取 美優/加藤 翔太
第16回生	吉田 健/山上由香理	第35回生	丸山 藍花/三富 慧
第17回生	山崎 晋/矢部 典子	第36回生	加藤 葉/本間千代乃
第18回生	北島 利裕/阿部香奈子	第37回生	大野 玲真/相馬 彩音
第19回生	斎藤 直人/長沼 由珠	第38回生	小林 歩人/齋藤くるみ

同窓会役員の紹介

事務局補佐	事務局補佐	副事務局長	会計	事務局補佐	事務局補佐
吉田 健	金田由幸子	徳井 洋子	出村 忠崇	間藤 一也	堀 雅嗣
(第16回生)	(第5回生)	(第13回生)	(第13回生)	(第24回生)	(第15回生)



事務局長	副会長	会長	副会長	監事
山本 志保	今野 健	片桐 努	中山 栄二	小林由美子
(第1回生)	(第1回生)	(第1回生)	(第3回生)	(第9回生)

同窓会事務局からのお知らせ

～同期会の開催をサポートします!～

同期会(卒業年次別の同窓会)の運営をサポートしています。
お気軽に同窓会事務局までご相談ください。

～同窓会員の子女のご入学には
お祝い金を贈呈しています～

同窓会員の子女が母校に入学される際には、同窓会より入学祝金1万円を贈呈いたします。入学時に学校事務局よりご案内いたしますので是非お問い合わせください。

～独立やお引越しの際はご連絡ください～

お住まいのお引越しや独立など、転居の際には、是非同窓会事務局までお知らせください。引き続き同窓会活動や母校の情報をお届けいたします。

～同窓会事務局 公式SNSにぜひご登録ください～

Facebook(フェイスブック)

同窓会グループはこちらからどうぞ ▶▶▶
もしくはグループ「TGN 東京学館新潟高等学校
同窓会」を検索してください。



LINE 公式アカウントも開設しています

東京学館新潟高等学校同窓会

公式 LINE はこちらから ▶▶▶



～東京学館新潟高等学校ではHPを開設しています。～

母校の近況から入試情報まで様々な情報が掲載されています。

東京学館新潟

検索

